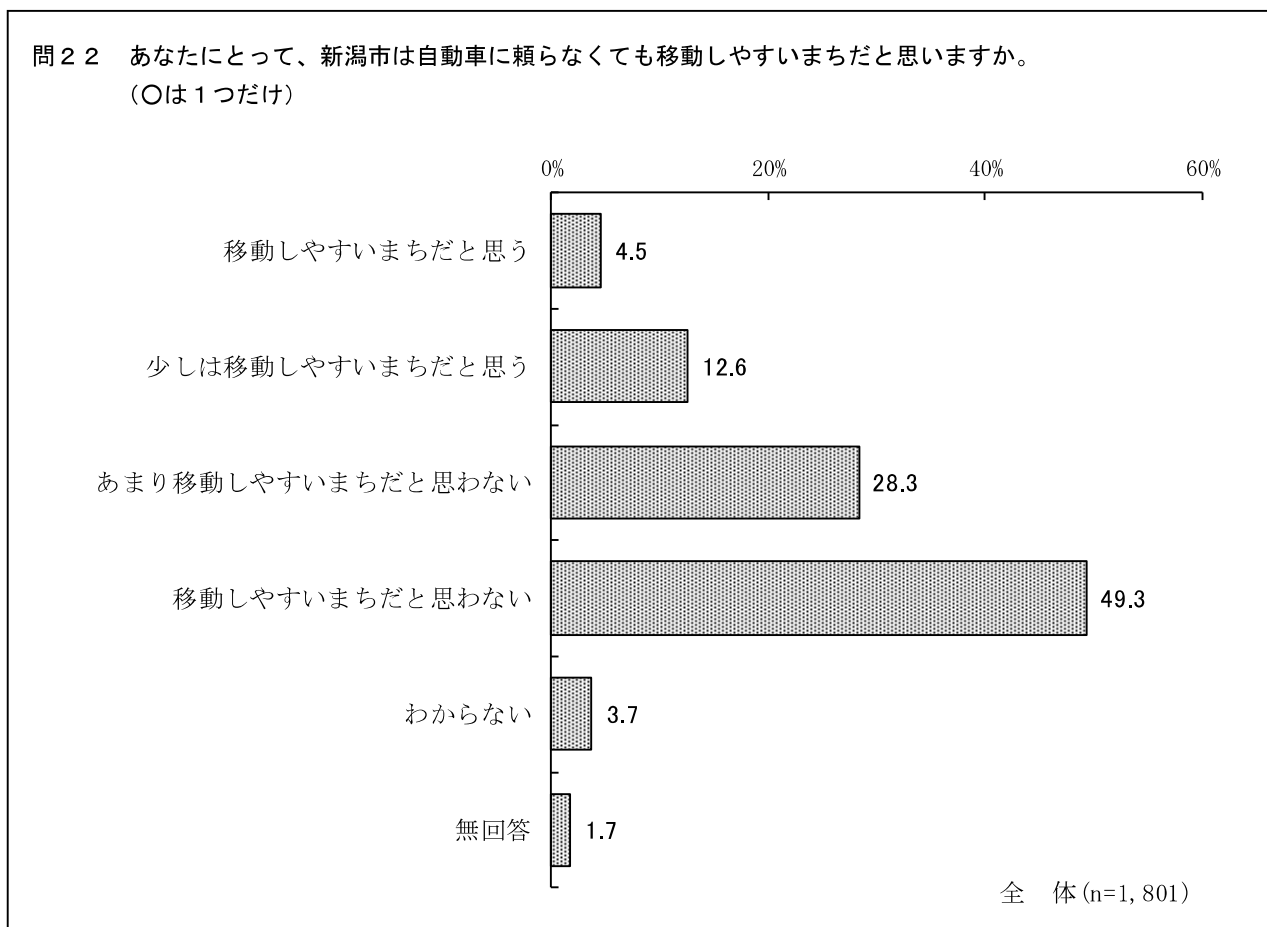


## 4. 移動しやすいまちづくりについて

### (1) 自動車に頼らなくても移動しやすいか



『移動しやすいまちだと思わない』が最も多い

#### 【全体結果】

新潟市は自動車に頼らなくても、「移動しやすいまちだと思わない」の割合が約5割を占めている。「移動しやすいまちだと思わない」(49.3%)と「あまり移動しやすいまちだと思わない」(28.3%)を合わせた『移動しやすいまちだと思わない』と回答した人の割合は、7割台となっている。

一方で、「少しは移動しやすいまちだと思ふ」(12.6%)と「移動しやすいまちだと思ふ」(4.5%)を合わせた『移動しやすいまちだと思ふ』と回答した人の割合は、1割台となっている。

## 【属性別結果】（図 4-1 参照）

### ① 地区別

「移動しやすいまちだと思わない」については、南区（64.9%）の割合が最も高くなっている。『移動しやすいまちだと思わない』の割合については、南区（89.4%）、江南区（84.8%）、西蒲区（82.5%）で高く、8割台となっている。一方、『移動しやすいまちだと思う』の割合は、秋葉区（21.3%）で高くなっている。

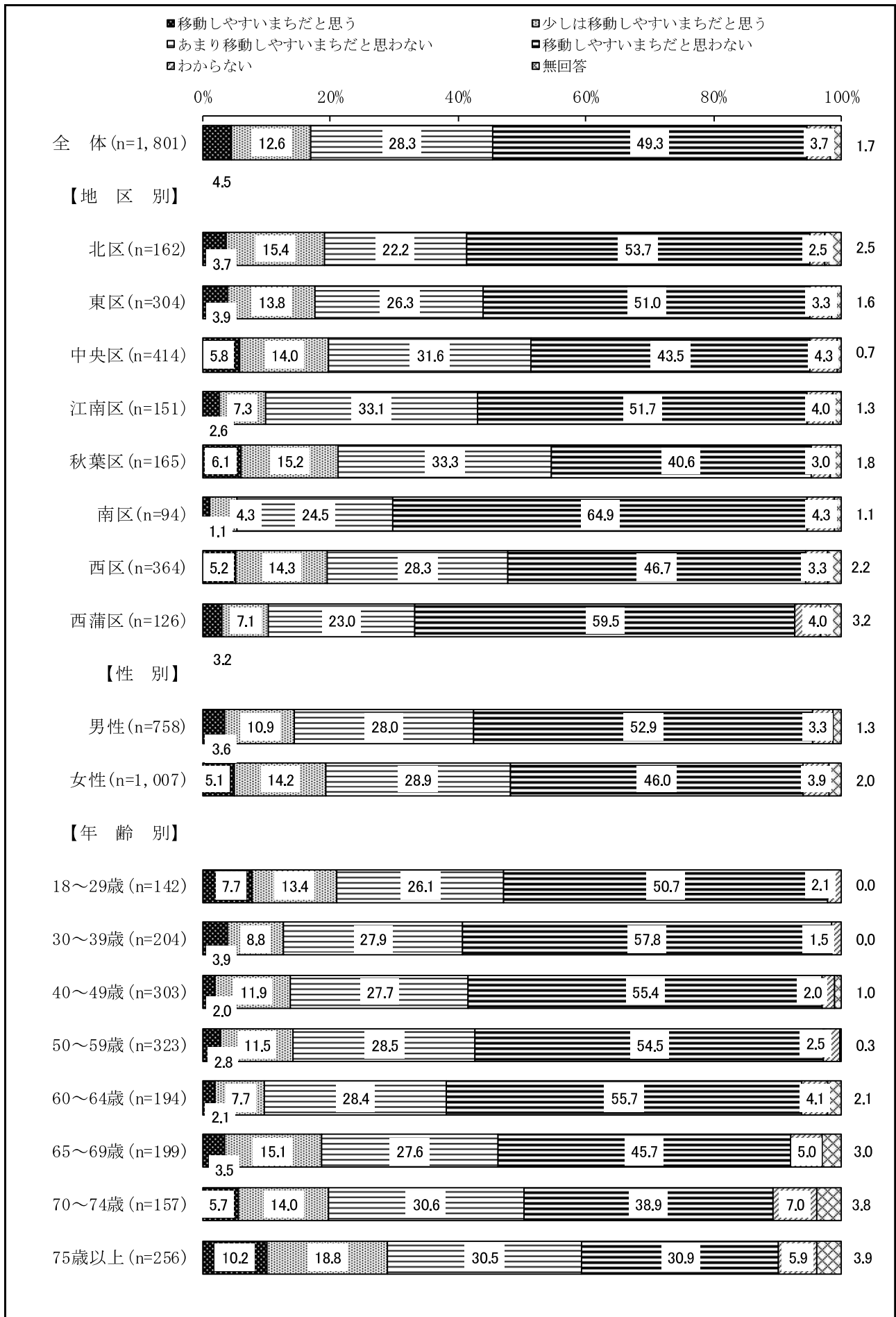
### ② 性別

「移動しやすいまちだと思わない」では、男性（52.9%）が女性（46.0%）を上回り、『移動しやすいまちだと思わない』の割合についても、男性（80.9%）が女性（74.9%）よりも高くなっている。

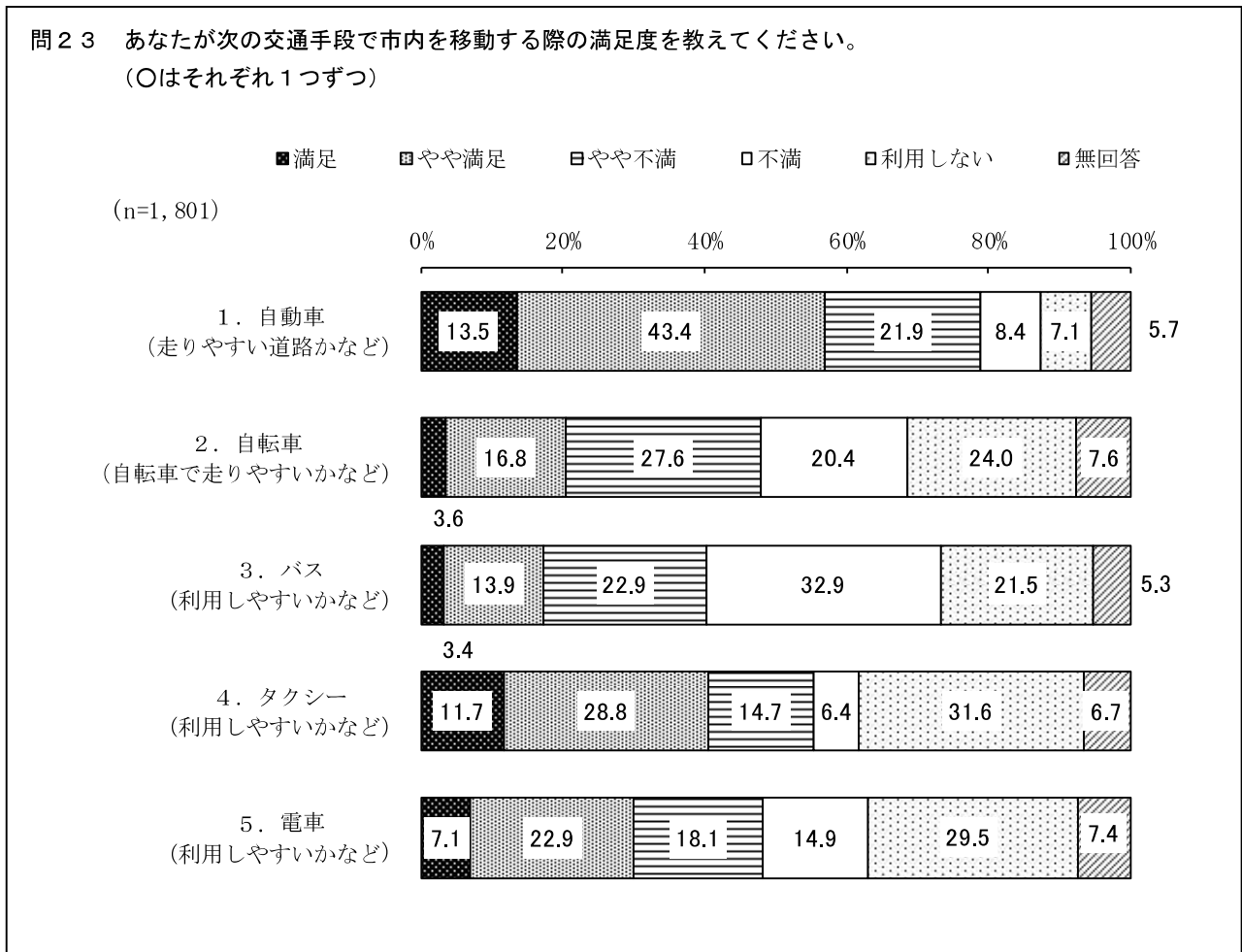
### ③ 年齢別

「移動しやすいまちだと思わない」の割合は、30代（57.8%）の割合が半数以上で高くなっている。『移動しやすいまちだと思わない』の割合は、30～64歳の割合が高く、8割台となっている。

図4-1 自動車に頼らなくても移動しやすいか（地区別／性別／年齢別）



## (2) 移動する際の交通手段の満足度



交通手段の満足度が最も高いのは『自動車』

### 【全体結果】

移動する際の交通手段の満足度をみると、『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）の割合が最も高いのは【1. 自動車（走りやすい道路かなど）】（56.9%）である。以下、【4. タクシー（利用しやすいかなど）】（40.5%）、【5. 電車（利用しやすいかなど）】（30.0%）、【2. 自転車（自転車で走りやすいかなど）】（20.4%）、【3. バス（利用しやすいかなど）】（17.3%）が続いている。

一方で、『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）の割合が最も高いのは【3. バス（利用しやすいかなど）】（55.8%）である。以下、【2. 自転車（自転車で走りやすいかなど）】（48.0%）、【5. 電車（利用しやすいかなど）】（33.0%）、【1. 自動車（走りやすい道路かなど）】（30.3%）、【4. タクシー（利用しやすいかなど）】（21.1%）が続いている。

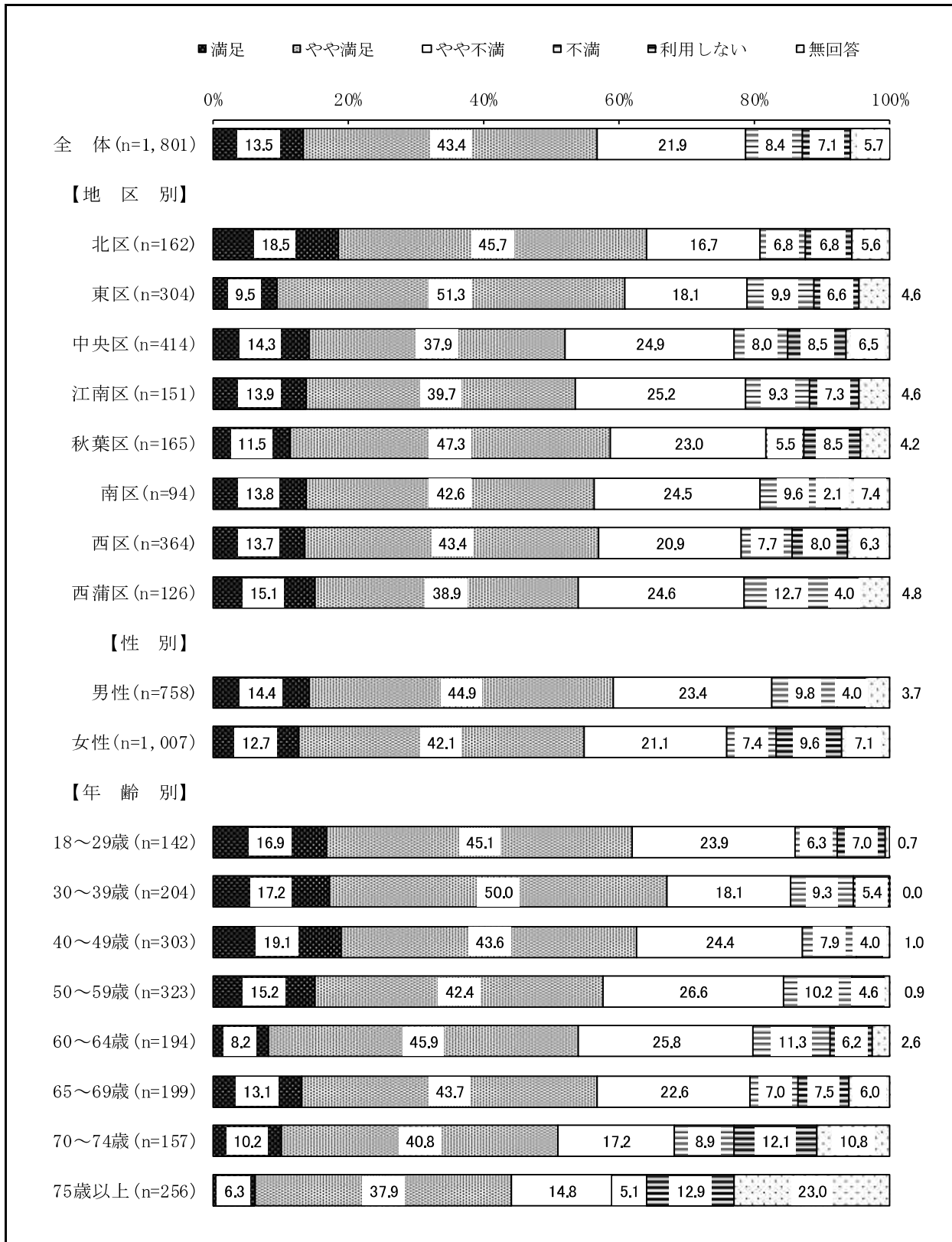
また、「利用しない」の割合が最も高いのは、【4. タクシー（利用しやすいかなど）】（31.6%）となっている。

### 【属性別結果】

次ページ以降に地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

図4-2 現住所についての感想（地区別／性別／年齢別）

1. 自動車（走りやすい道路かなど）

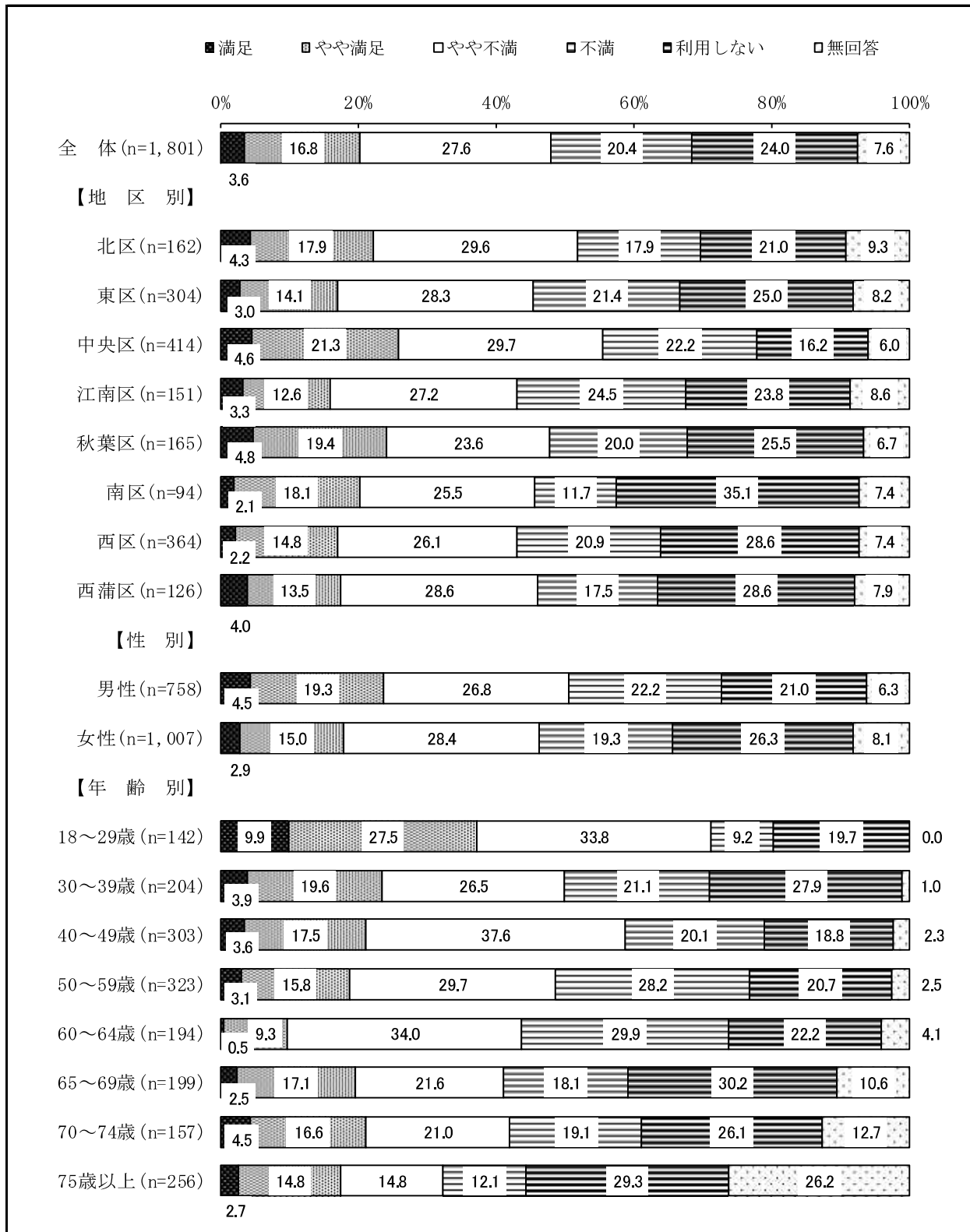


地区別では、『満足』計の割合は、北区（64.2%）が最も高くなっている。一方、『不満』計の割合は、西蒲区（37.3%）が高くなっている。

性別では、『満足』計、『不満』計ともに、男性が女性を上回っている。

年齢別では、『満足』計の割合は、30代（67.2%）が最も高くなっている。

## 2. 自転車（自転車で走りやすいかなど）

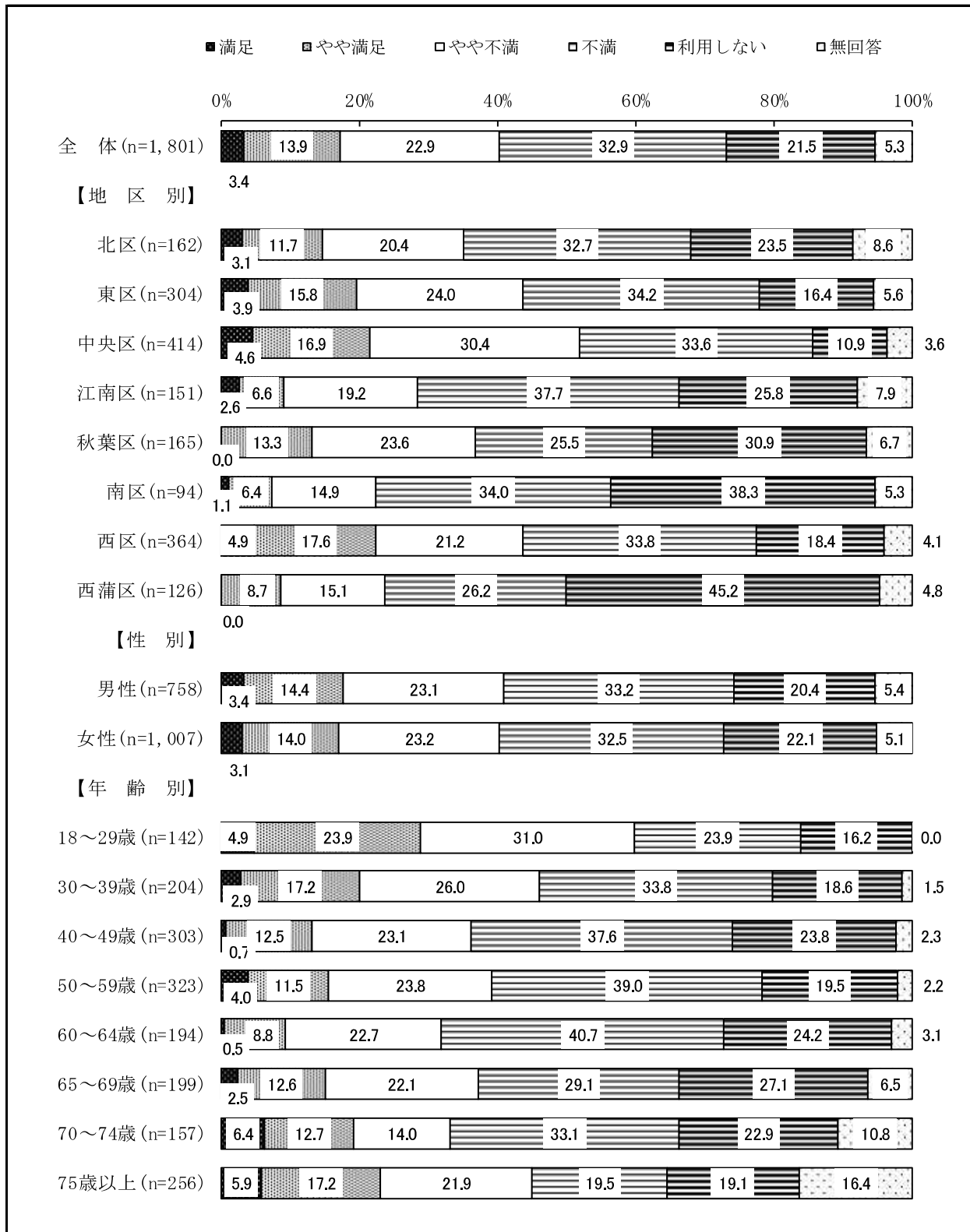


地区別では、『満足』計の割合は、中央区（25.9%）と秋葉区（24.2%）が高く、全体の約4分の1を占めている。一方、『不満』計の割合は、中央区（51.9%）と江南区（51.7%）が高く、半数以上となっている。

性別では、『満足』計の割合は、男性（23.8%）の方が女性（17.9%）よりも高くなっている。

年齢別では、『満足』計の割合は、18～29歳（37.4%）が最も高くなっている。一方、『不満』計の割合は、60～64歳（63.9%）が高くなっている。

### 3. バス（利用しやすいかなど）

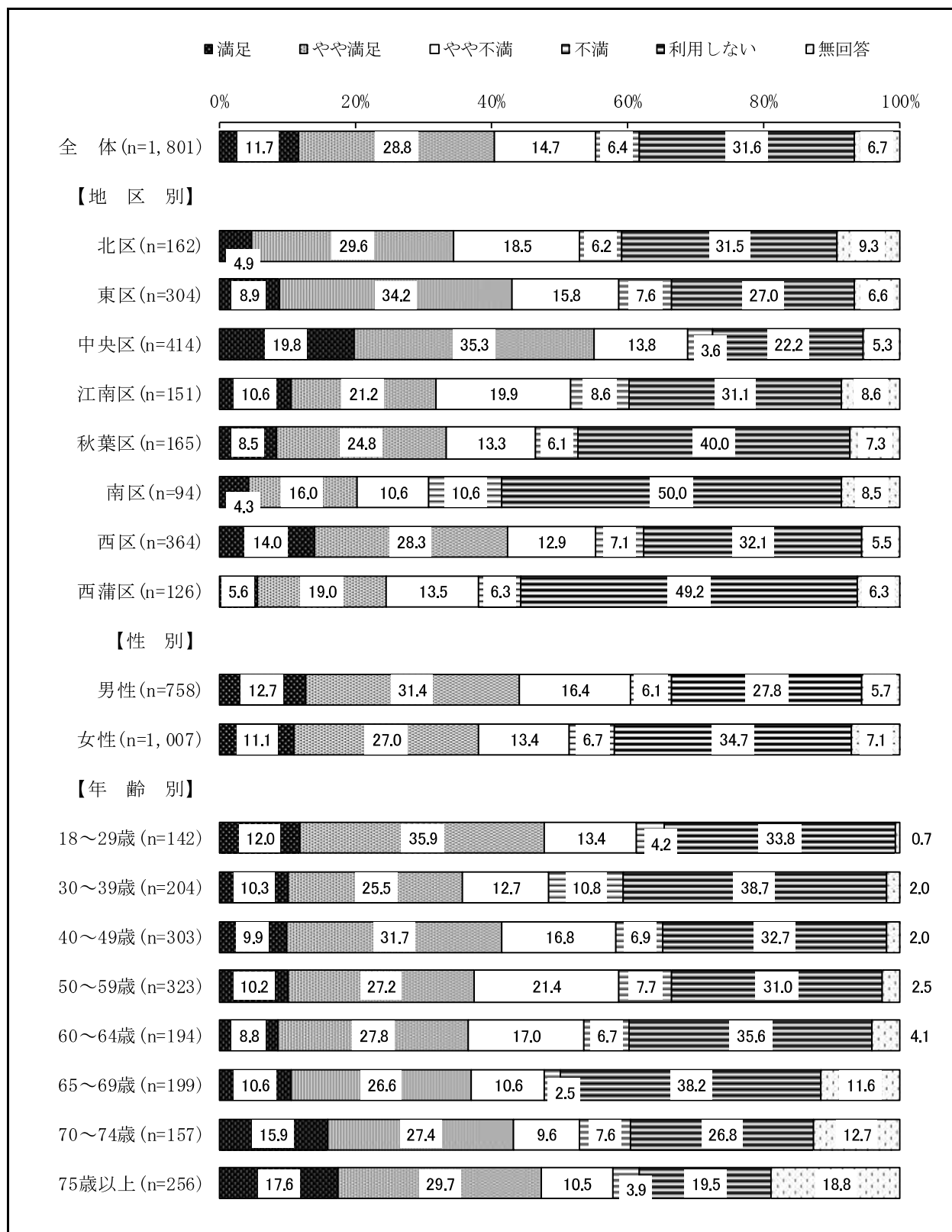


地区別では、『満足』計の割合は、西区（22.5%）と中央区（21.5%）が高く、2割を超えている。一方、『不満』計の割合は、中央区（64.0%）が最も高くなっている。

性別では大きな差はみられない。

年齢別では、『満足』計の割合は、18～29歳（28.8%）が最も高くなっている。一方、『不満』計の割合は、50代（62.8%）と60～64歳（63.4%）が高く、6割を超えている。

#### 4. タクシー（利用しやすいかなど）



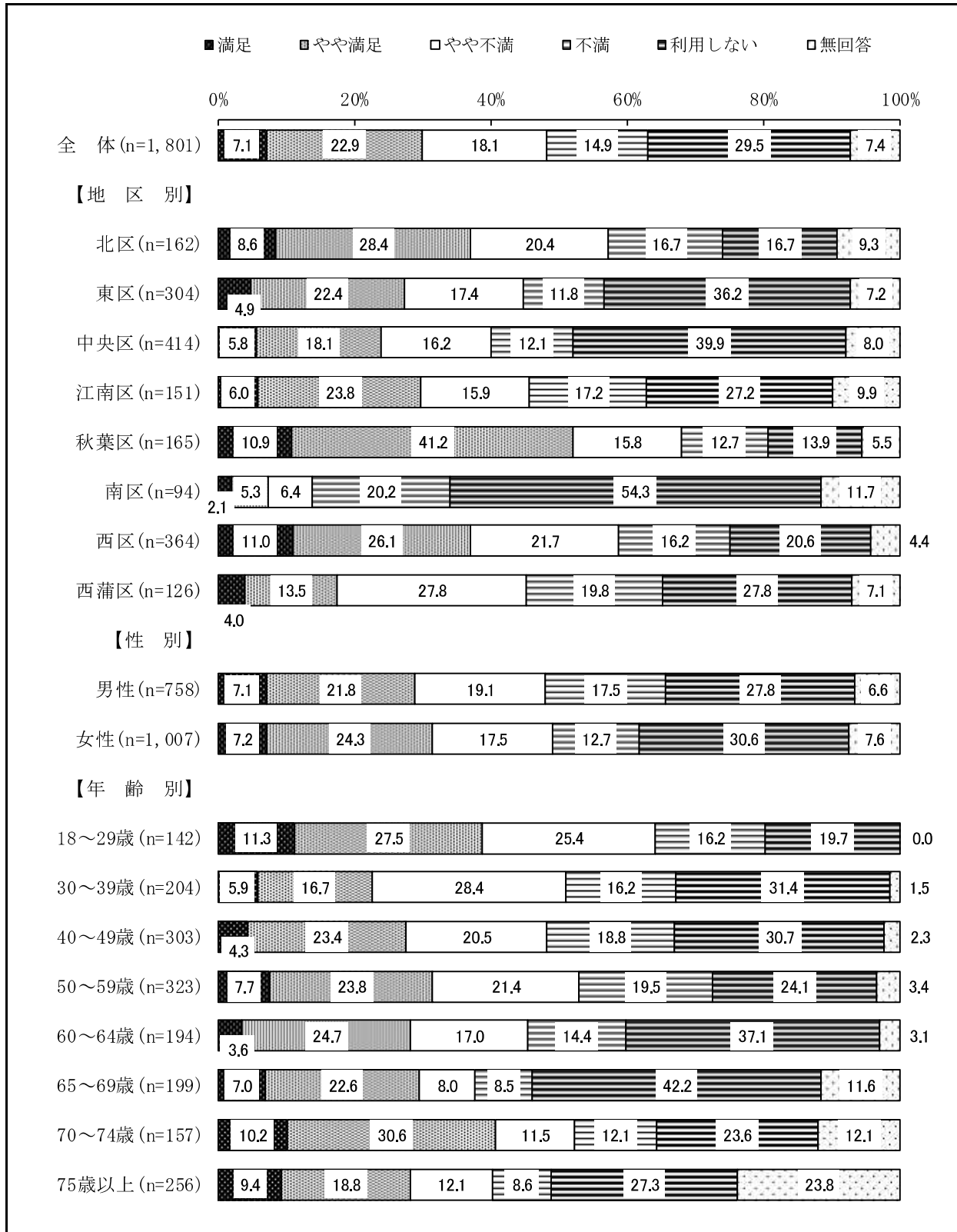
地区別では、『満足』計の割合は、中央区（55.1%）が最も高く、半数以上を占めている。一方、『不満』計の割合は、江南区（28.5%）が最も高くなっている。

性別では、『満足』計の割合は、男性（44.1%）の方が女性（38.1%）よりも高くなっている。

年齢別では、『満足』計の割合は、18～29歳（47.9%）と75歳以上（47.3%）が高く、4割台となっている。一方、『不満』計の割合は、50代（29.1%）が高く、約3割となっている。



## 5. 電車（利用しやすいかなど）

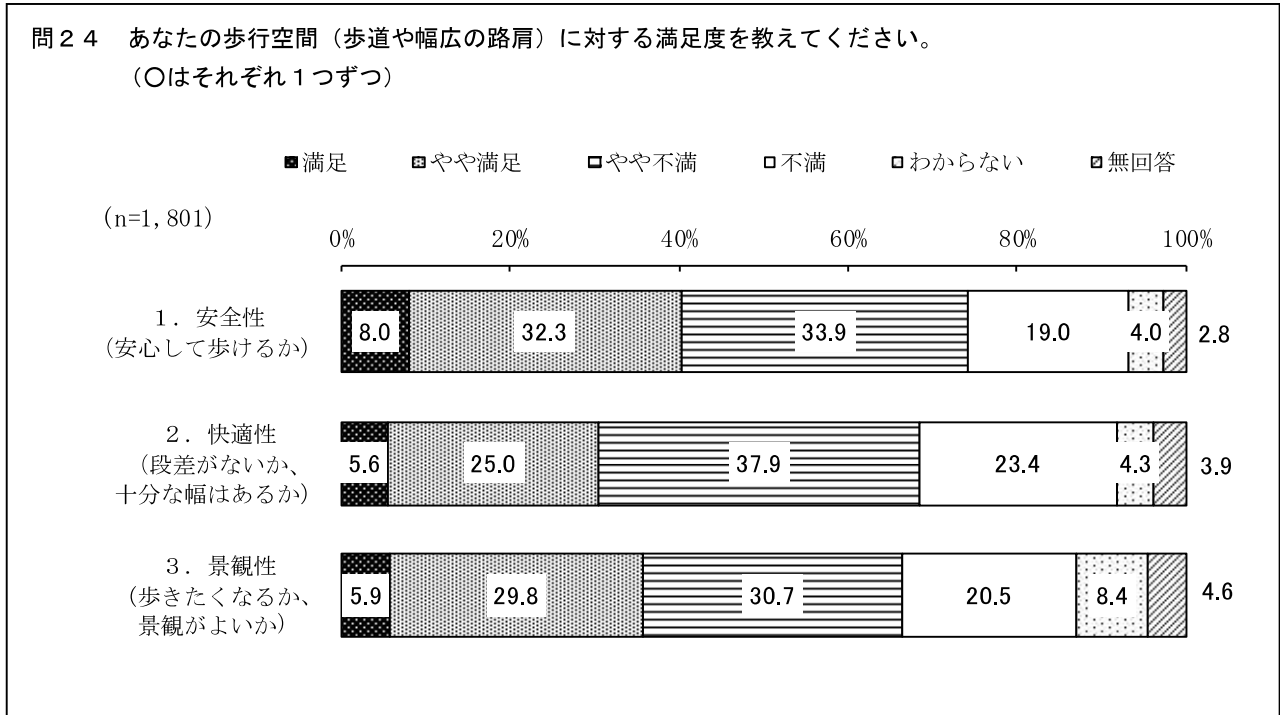


地区別では、『満足』計の割合は、秋葉区（52.1%）が最も高く、半数以上となっている。一方、『不満』計の割合は、西蒲区（47.6%）が最も高くなっている。

性別では、『不満』計の割合は、男性（36.6%）の方が女性（30.2%）よりも高くなっている。

年齢別では、『満足』計の割合は、70～74歳（40.8%）が最も高く、約4割となっている。一方、『不満』計の割合は、30代（44.6%）が最も高くなっている。

(3) 歩行空間に対する満足度



歩行空間に対する満足度が最も高いのは『安全性』

【全体結果】

歩行空間に対する満足度をみると、『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）の割合が最も高いのは【1. 安全性（安心して歩けるか）】（40.3%）である。以下、【3. 景観性（歩きたくなるか、景観がよいか）】（35.7%）、【2. 快適性（段差がないか、十分な幅はあるか）】（30.6%）が続いている。

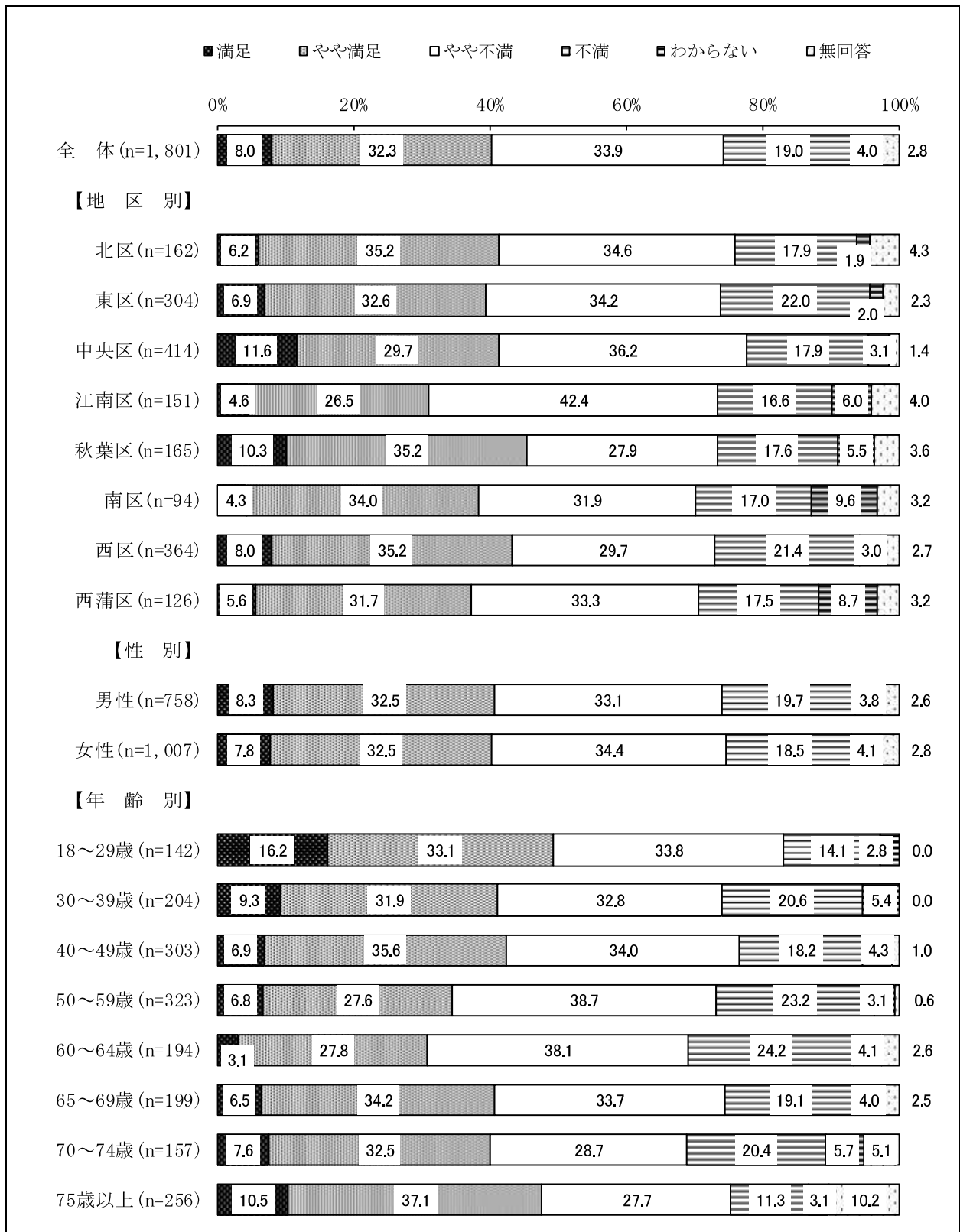
一方で、『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）の割合が最も高いのは【2. 快適性（段差がないか、十分な幅はあるか）】（61.3%）で、【1. 安全性（安心して歩けるか）】（52.9%）、【3. 景観性（歩きたくなるか、景観がよいか）】（51.2%）が続いている。

【属性別結果】

次ページ以降に地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

図4-3 歩行空間に対する満足度（地区別／性別／年齢別）

1. 安全性（安心して歩けるか）

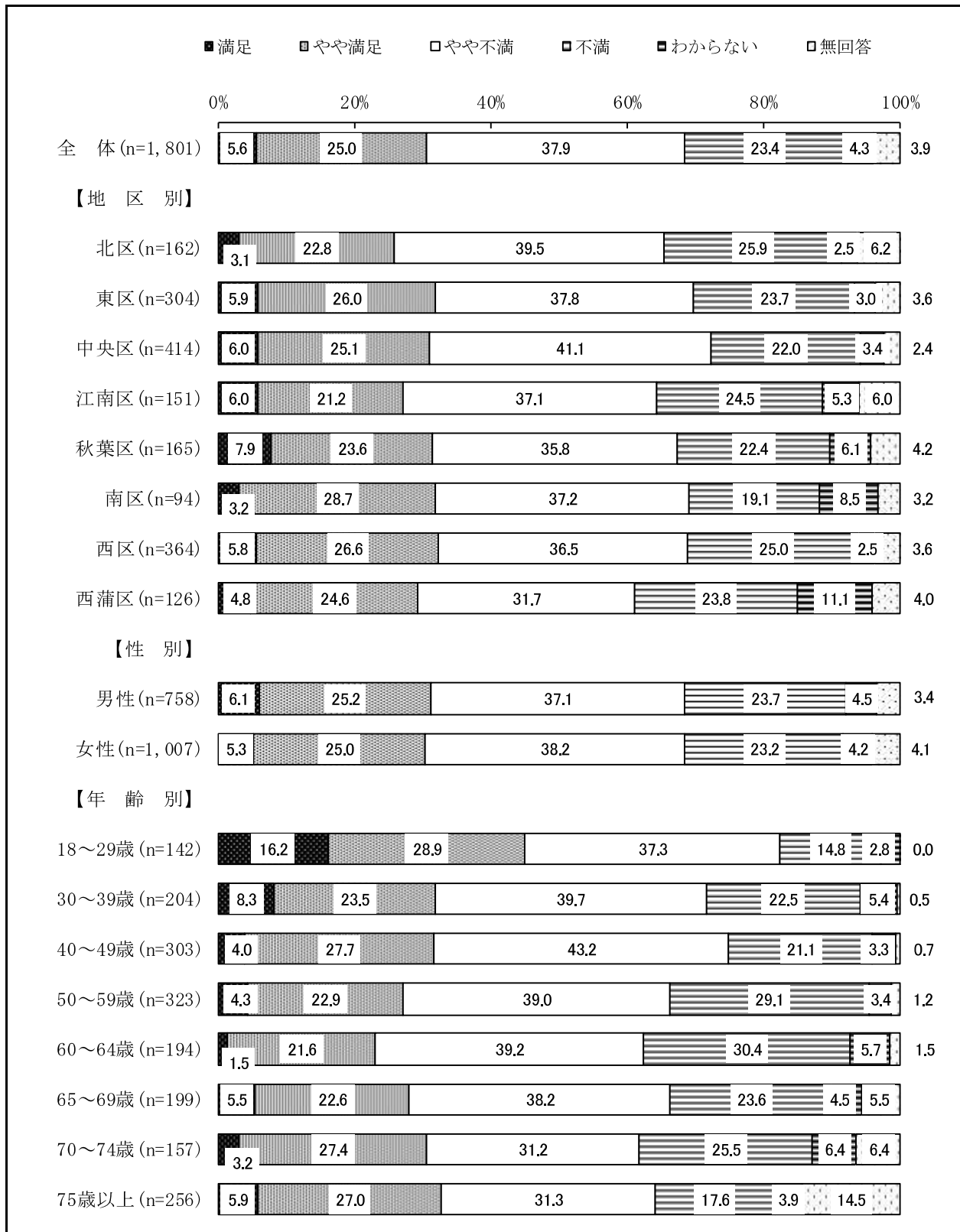


地区別では、『満足』計の割合は、秋葉区（45.5%）が最も高くなっている。一方、『不満』計の割合は、江南区（59.0%）が最も高く、約6割となっている。

性別では大きな差はみられない。

年齢別では、『満足』計の割合は、18～29歳（49.3%）が最も高く、約5割となっている。一方、『不満』計の割合は、50代（61.9%）と60～64歳（62.3%）が高く、6割を超えている。

## 2. 快適性（段差がないか、十分な幅はあるか）

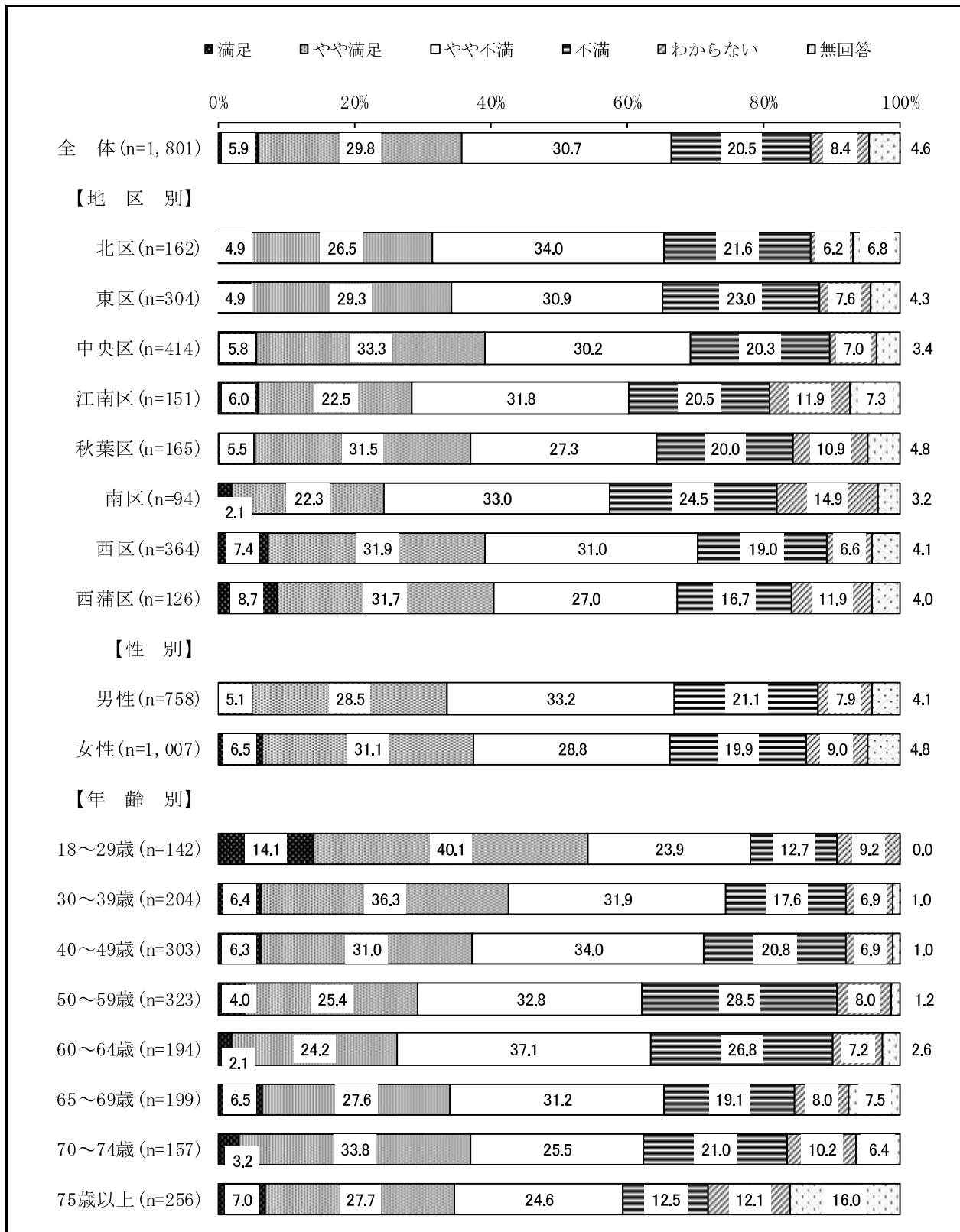


地区別では、『満足』計の割合は、西区（32.4%）が最も高くなっている。一方、『不満』計の割合は、北区（65.4%）が最も高くなっている。

性別では大きな差はみられない。

年齢別では、『満足』計の割合は、18～29歳（45.1%）が最も高くなっている。一方、『不満』計の割合は、50代（68.1%）と60～64歳（69.6%）が高く、7割未満となっている。

### 3. 景観性（歩きたくなるか、景観がよいか）

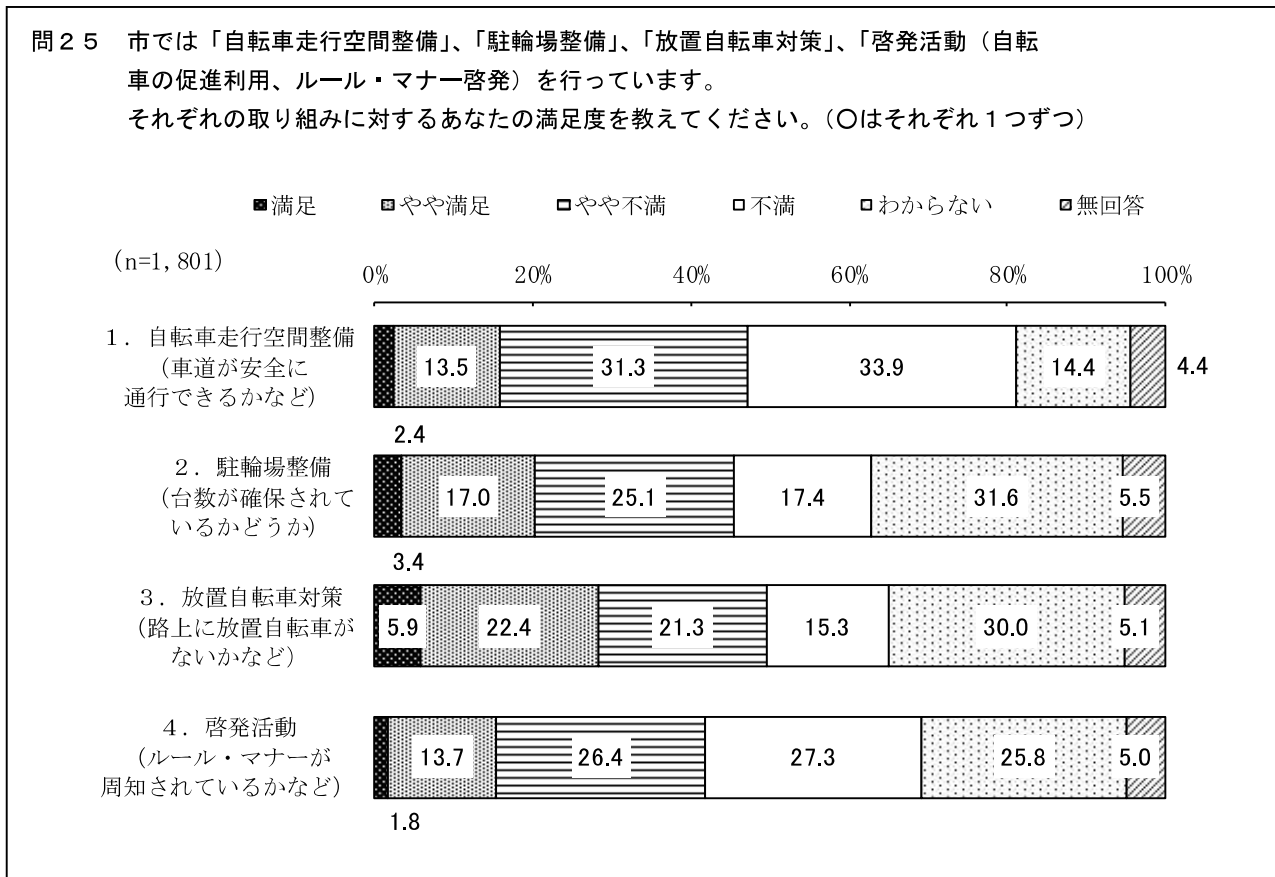


地区別では、『満足』計の割合は、西蒲区（40.4%）が最も高く、約4割となっている。一方、『不満』計の割合は、南区（57.5%）が最も高くとなっている。

性別では、『不満』計の割合は、男性（54.3%）の方が女性（48.7%）よりも高くなっている。

年齢別では、『満足』計の割合は、18～29歳（54.2%）が最も高く、半数以上となっている。一方、『不満』計の割合は、60～64歳（63.9%）と50～59歳（61.3%）が高く、6割を超えている。

(4) 自転車に関する取り組みに対する満足度



—— 自転車に関する取り組みに対する満足度が最も高いのは『放置自転車対策』 ——

【全体結果】

市の自転車に関する取り組みに対する満足度をみると、『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）の割合が最も高いのは【3. 放置自転車対策（路上に放置自転車がないかなど）】（28.3%）である。【2. 駐輪場整備（台数が確保されているかどうか）】（20.4%）が続いている。

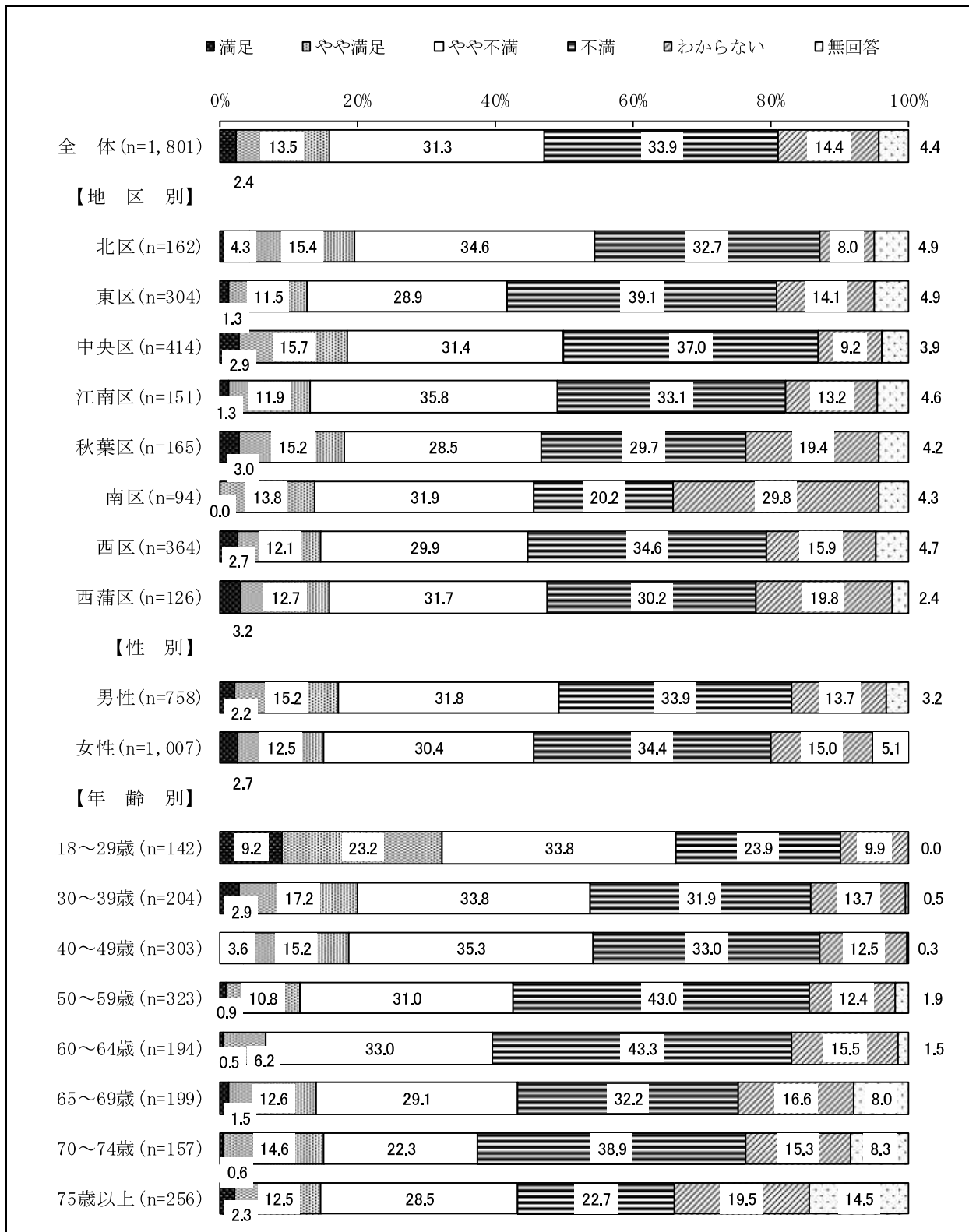
一方で、『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）の割合が最も高いのは【1. 自転車走行空間整備（車道が安全に通行できるかなど）】（65.2%）で、【4. 啓発活動（ルール・マナーが周知されているかなど）】（53.7%）が5割台、【2. 駐輪場整備（台数が確保されているかどうか）】（42.5%）が4割台が続いている。

【属性別結果】

次ページ以降に地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

図4-4 自転車に関する取り組みに対する満足度（地区別／性別／年齢別）

1. 自転車走行空間整備（車道が安全に通行できるかなど）

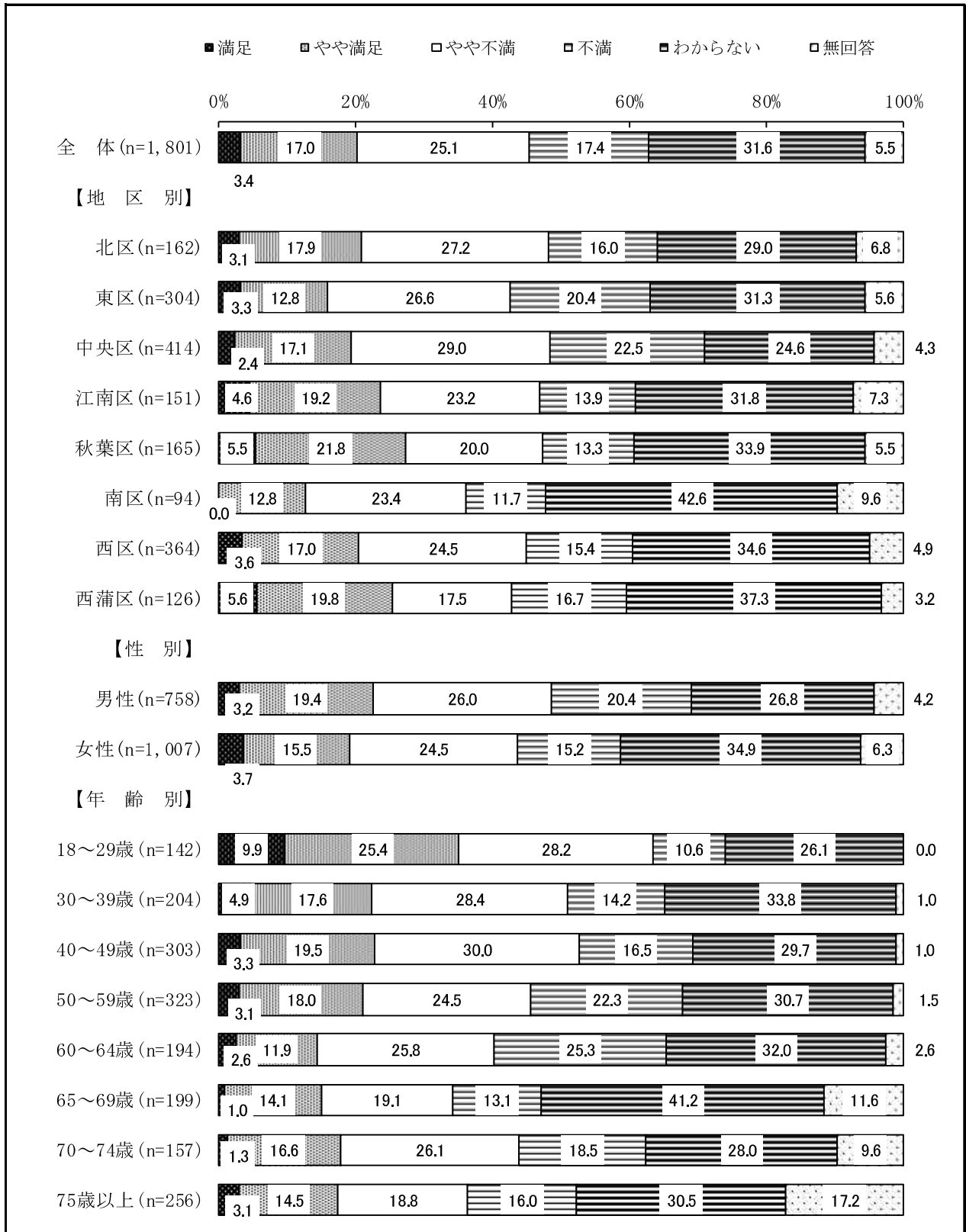


地区別では、『満足』計の割合は、北区（19.7%）、中央区（18.6%）、秋葉区（18.2%）が高く、2割未満となっている。一方、『不満』計の割合は、江南区（68.9%）、中央区（68.4%）、東区（68.0%）、北区（67.3%）が高く、7割未満となっている。

性別では大きな差は見られない。

年齢別では、『満足』計の割合は、18～29歳（32.4%）が最も高く、3割を超えている。一方、『不満』計の割合は、50代（74.0%）と60～64歳（76.3%）が高くなっている。

## 2. 駐輪場整備（台数が確保されているかどうか）



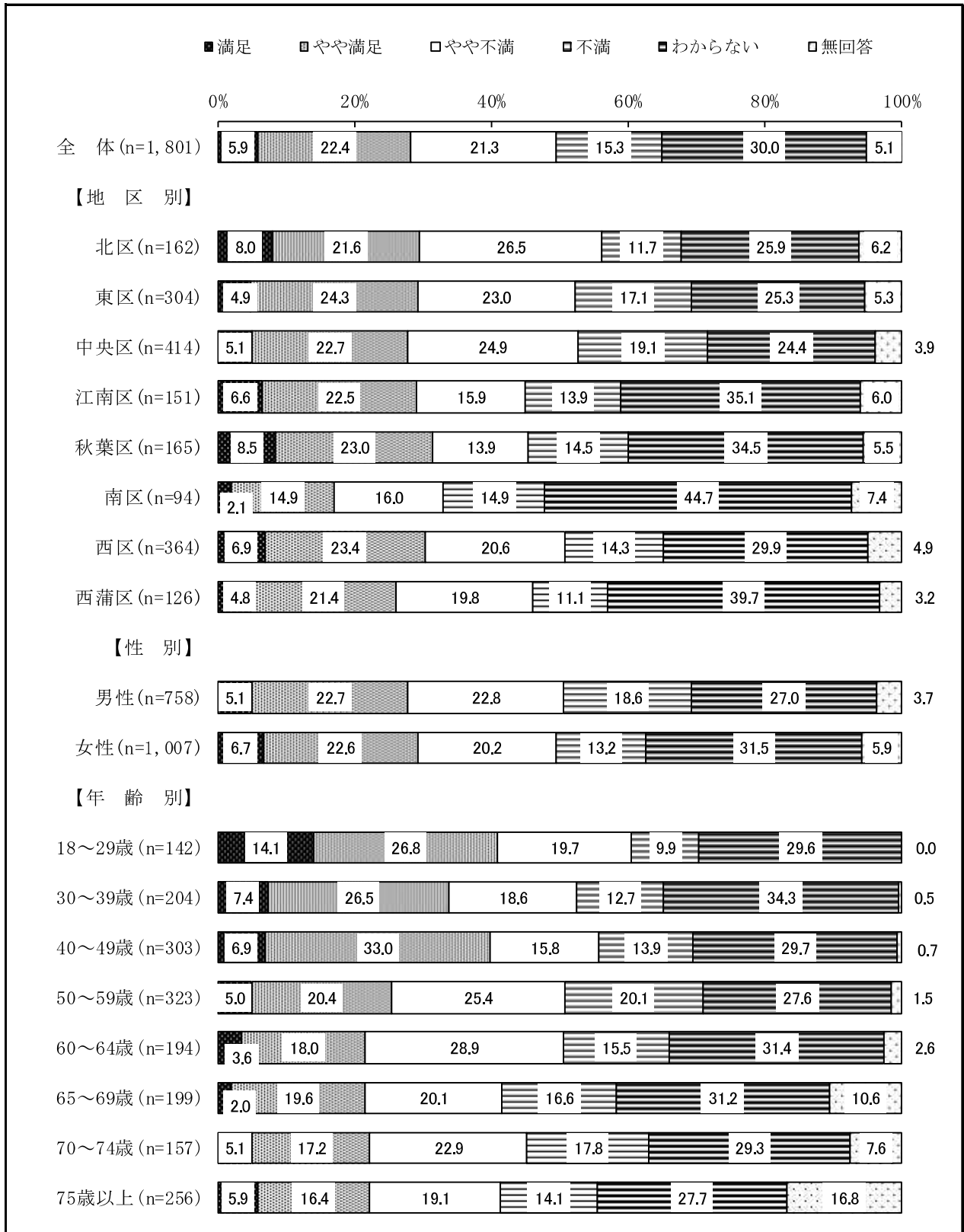
地区別では、『満足』計の割合は、秋葉区（27.3%）が最も高くなっている。一方、『不満』計の割合は、中央区（51.5%）が最も高く、半数以上となっている。

性別では、『不満』計の割合は、男性（46.4%）が女性（39.7%）を上回っている。

年齢別では、『満足』計の割合は、18～29歳（35.3%）が最も高くなっている。一方、『不満』計の割合は、60～64歳（51.1%）が高く、半数以上となっている。



### 3. 放置自転車対策（路上に放置自転車がないかなど）

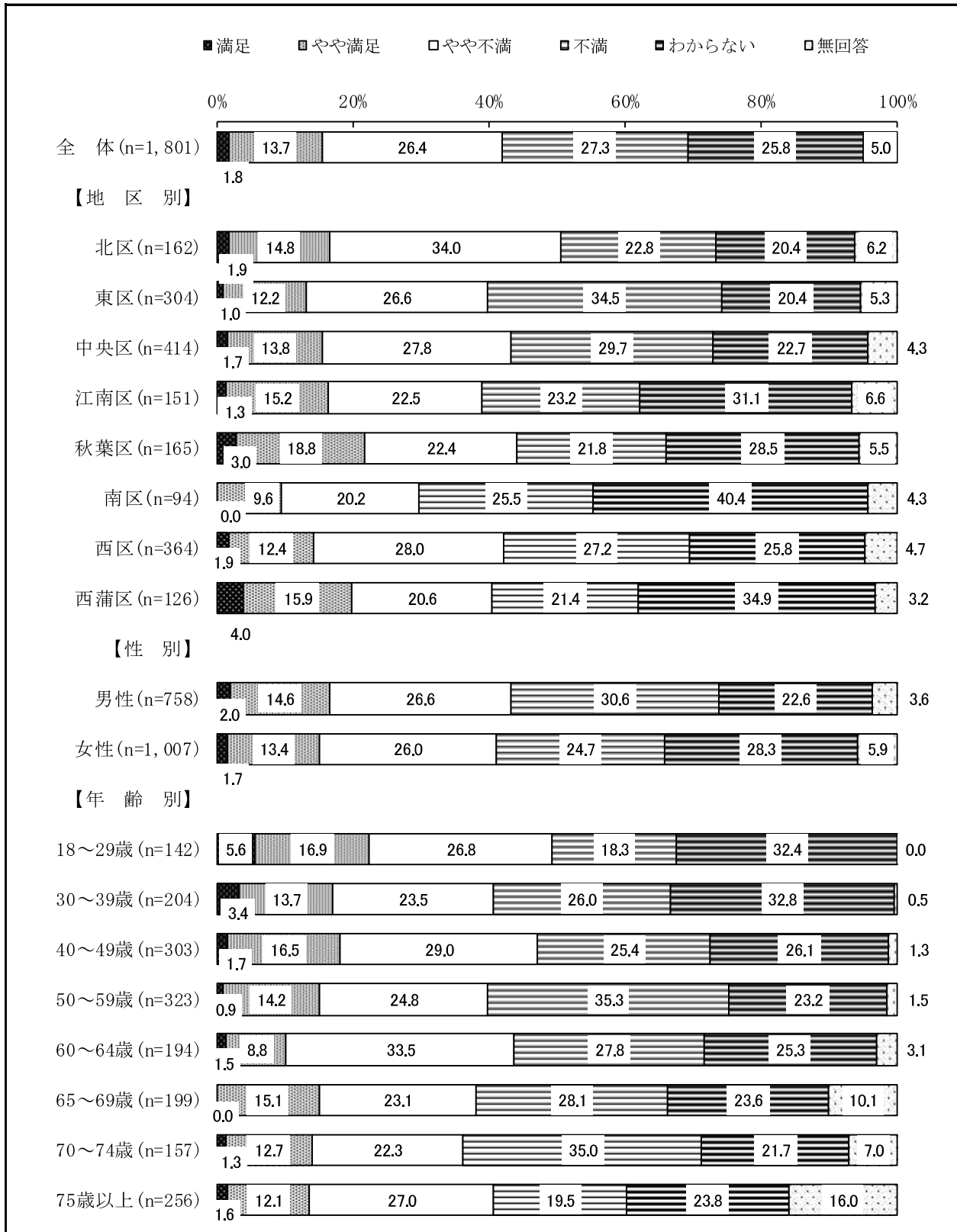


地区別では、『満足』計の割合は、秋葉区（31.5%）と西区（30.3%）が高く、約3割となっている。一方、『不満』計の割合は、中央区（44.0%）が最も高くなっている。

性別では、『不満』計の割合は、男性（41.4%）が女性（33.4%）を上回っている。

年齢別では、『満足』計の割合は、18～29歳（40.9%）が最も高く、約4割となっている。一方、『不満』計の割合は、50代（45.5%）と60～64歳（44.4%）が高く、4割台となっている。

#### 4. 啓発活動（ルール・マナーが周知されているかなど）



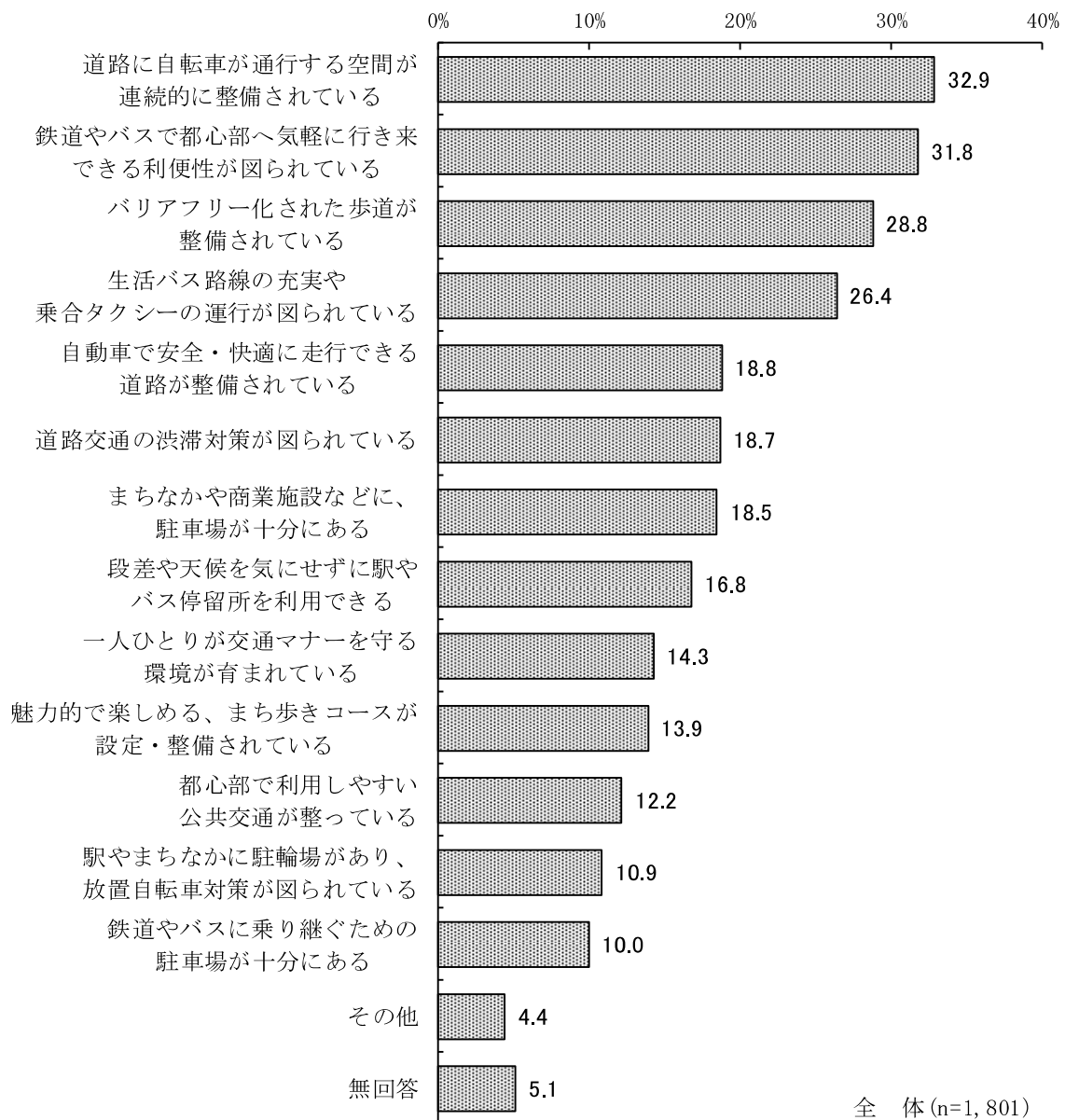
地区別では、『満足』計の割合は、秋葉区（21.8%）が高くなっている。一方、『不満』計の割合は、東区（61.1%）が高く、約6割となっている。

性別では、『不満』計の割合は、男性（57.2%）が女性（50.7%）を上回っている。

年齢別では、『満足』計の割合は、18～29歳（22.5%）が最も高くなっている。一方、『不満』計の割合は、50代（60.1%）と60～64歳（61.3%）が高く、約6割となっている。

(5) 「移動しやすいまち」を実感するために必要なこと

問26 あなたにとって「移動しやすいまち」であると実感できること、また、「移動しやすいまち」を実感するために必要だと思うことは、次のうちどれですか。(〇は3つまで)



—— 「道路に自転車が通行する空間が連続的に整備されている」が最も多い ——

【全体結果】

「移動しやすいまち」を実感するために必要なことについては、「道路に自転車が通行する空間が連続的に整備されている」(32.9%)の割合が最も高く、「鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られている」(31.8%)が僅差で続いている。以下、「バリアフリー化された歩道が整備されている」(28.8%)、「生活バス路線の充実や乗合タクシーの運行が図られている」(26.4%)が2割台となっている。

## 【属性別結果】（図 4-5 参照）

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「道路に自転車が通行する空間が連続的に整備されている」については、東区（39.5%）と中央区（38.2%）の割合が高くなっている。「鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られている」では、南区（41.5%）と江南区（40.4%）の割合が高く、約4割となっている。

### ② 性別

「自動車で安全・快適に走行できる道路が整備されている」と「道路交通の渋滞対策が図られている」では、いずれも男性（それぞれ 23.4%、23.0%）が女性（いずれも 15.5%）を上回っている。一方、「生活バス路線の充実や乗合タクシーの運行が図られている」と「段差や天候を気にせずに駅やバス停留所を利用できる」では、女性（それぞれ 28.7%、19.6%）が男性（それぞれ 23.7%、13.1%）を上回っている。

### ③ 年齢別

「自動車で安全・快適に走行できる道路が整備されている」「まちなかや商業施設などに、駐車場が十分にある」「都心部で利用しやすい公共交通が整っている」は 18～29 歳（それぞれ 22.5%、28.2%、17.6%）が、「道路に自転車が通行する空間が連続的に整備されている」「道路交通の渋滞対策が図られている」は 30 代（それぞれ 42.2%、29.9%）が、「鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来している利便性が図られている」は 40 代（39.6%）が、「魅力的で楽しめる、まち歩きコースが設定・整備されている」「鉄道やバスに乗り継ぐための駐車場が十分にある」は 50 代（それぞれ 16.4%、13.6%）が、「バリアフリー化された歩道が整備されている」「生活バス路線の充実や乗合タクシーの運行が図られている」は 65～69 歳（それぞれ 34.7%、30.2%）が、それぞれ高くなっている。

図4-5 「移動しやすいまち」を実感するために必要なこと（地区別／性別／年齢別） 1/3

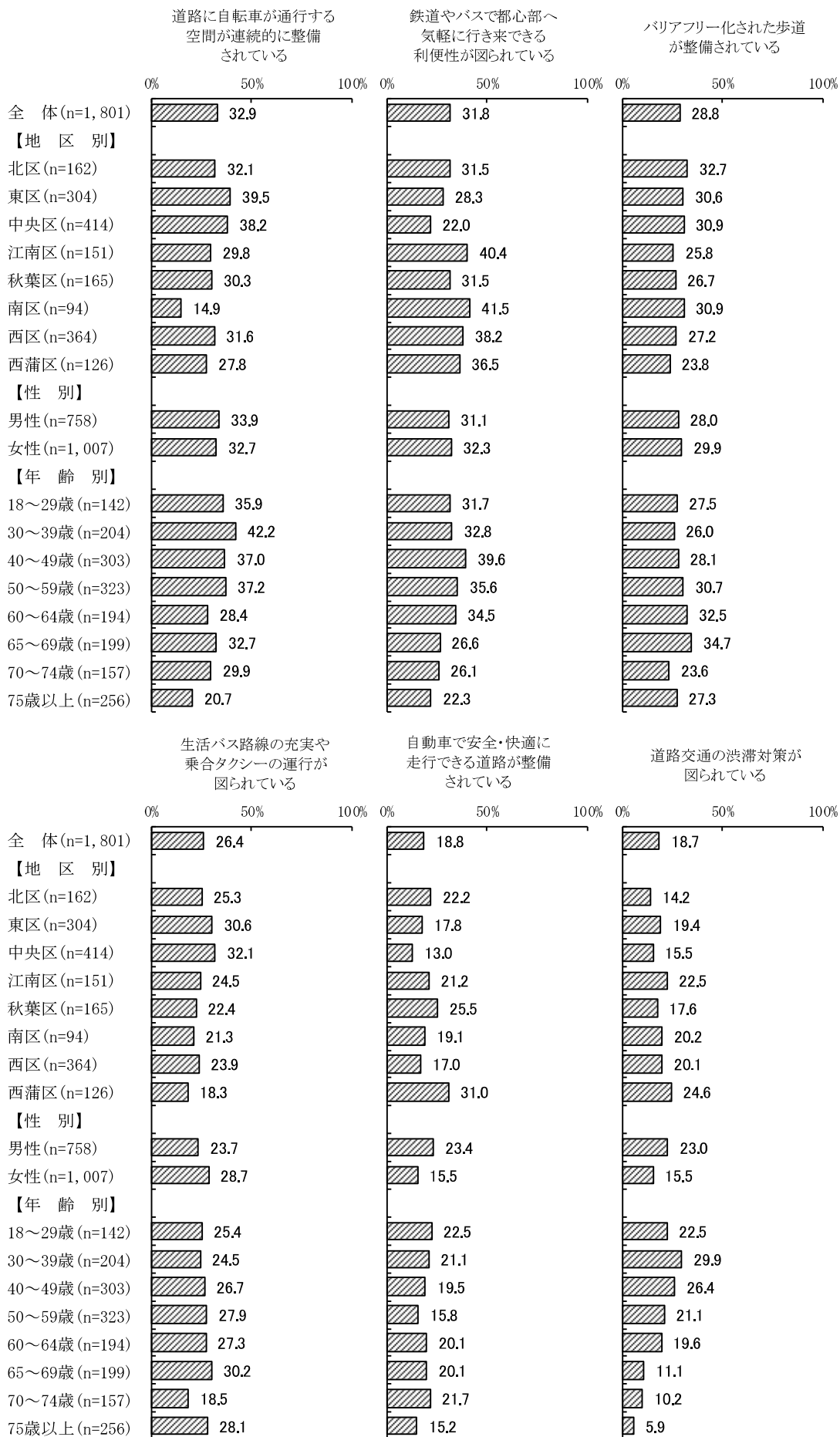


図4-5 「移動しやすいまち」を実感するために必要なこと（地区別／性別／年齢別） 2/3

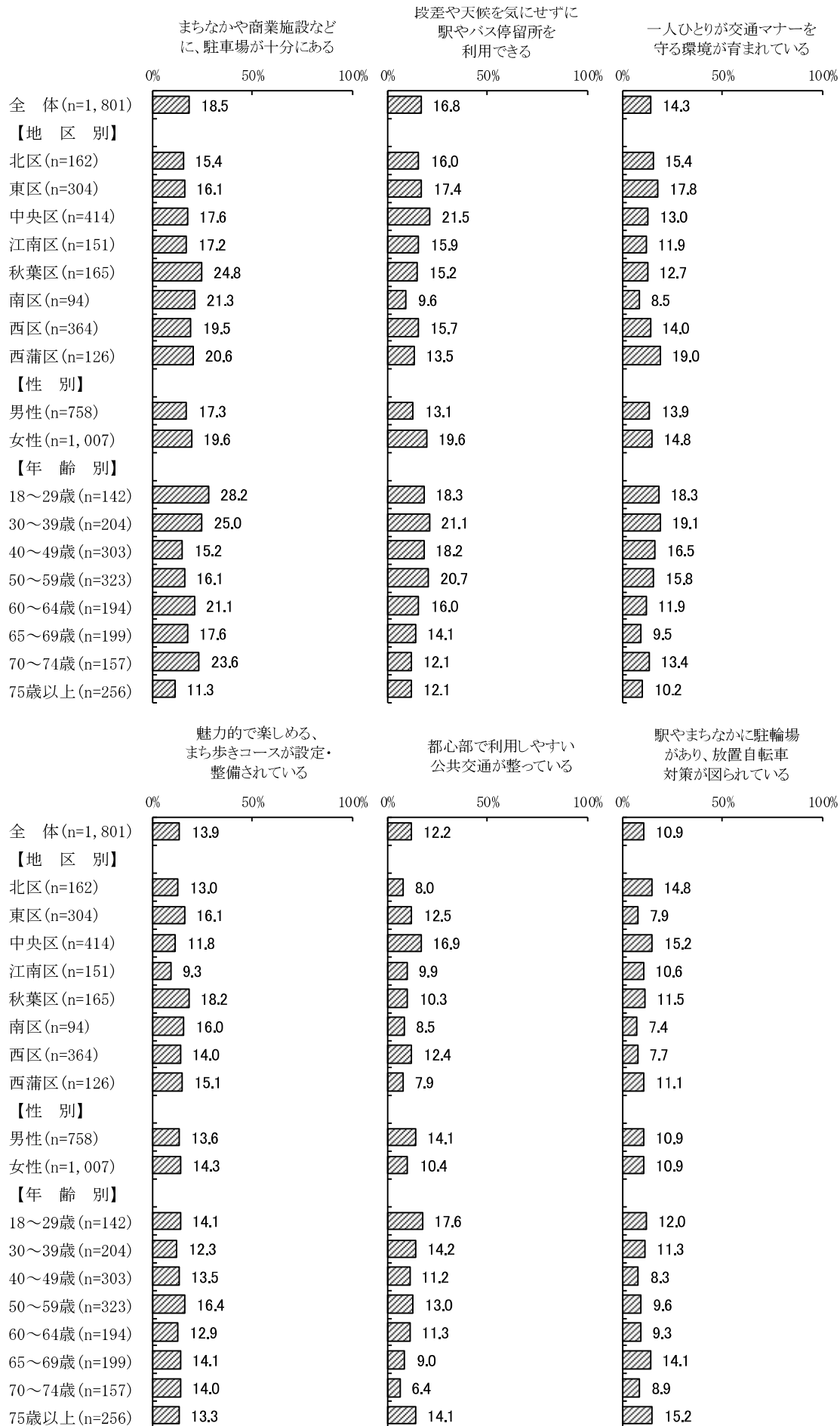
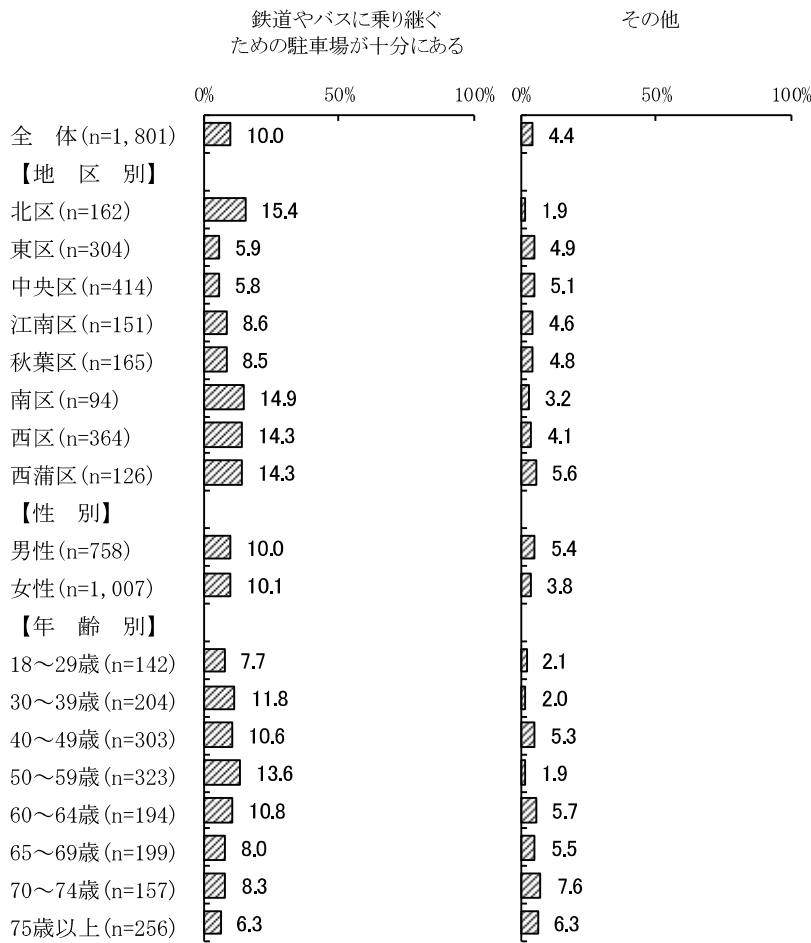
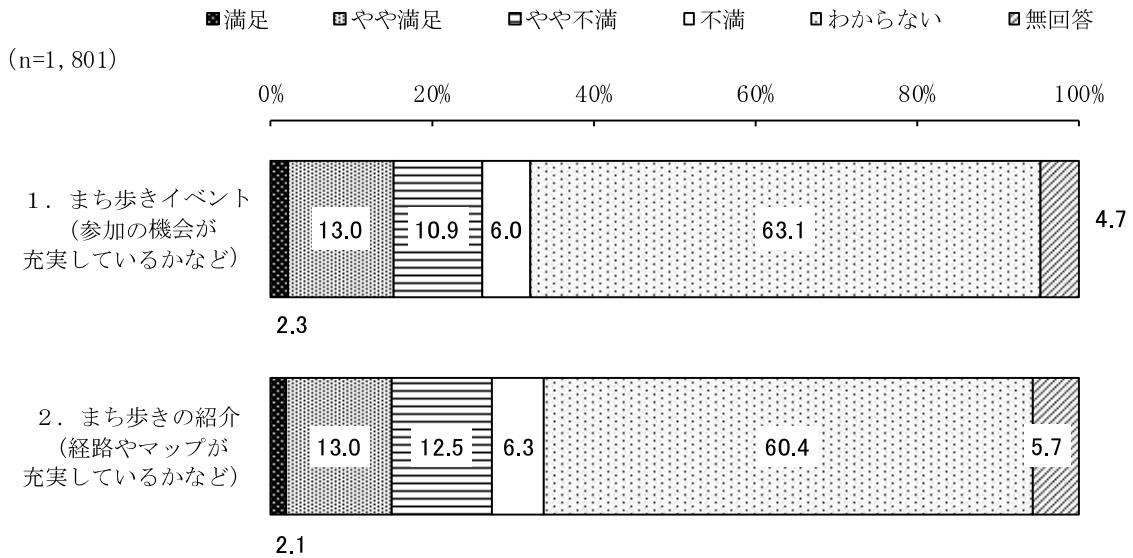


図 4-5 「移動しやすいまち」を実感するために必要なこと（地区別／性別／年齢別） 3/3



(6) 「まち歩き」に関する現状の満足度

問27 近年、健康意識の高まりや街の持つ魅力が再認識され、まちなかの散策を楽しむ「まち歩き」が広がりをみせています。そこで、「まち歩き」に関する現状についてお聞かせください。  
(〇はそれぞれ1つずつ)



『まち歩き』に関する現状は「わからない」と回答が6割台

【全体結果】

『まち歩き』に関する現状の満足度をみると、『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）の割合は、【1. まち歩きイベント（参加の機会が充実しているかなど）】（15.3%）、【2. まち歩きの紹介（経路やマップが充実しているかなど）】（15.1%）は、いずれも1割台にとどまっている。

一方で、「わからない」の割合が高く、【1. まち歩きイベント（参加の機会が充実しているかなど）】（63.1%）、【2. まち歩きの紹介（経路やマップが充実しているかなど）】（60.4%）は、いずれも6割台となっている。

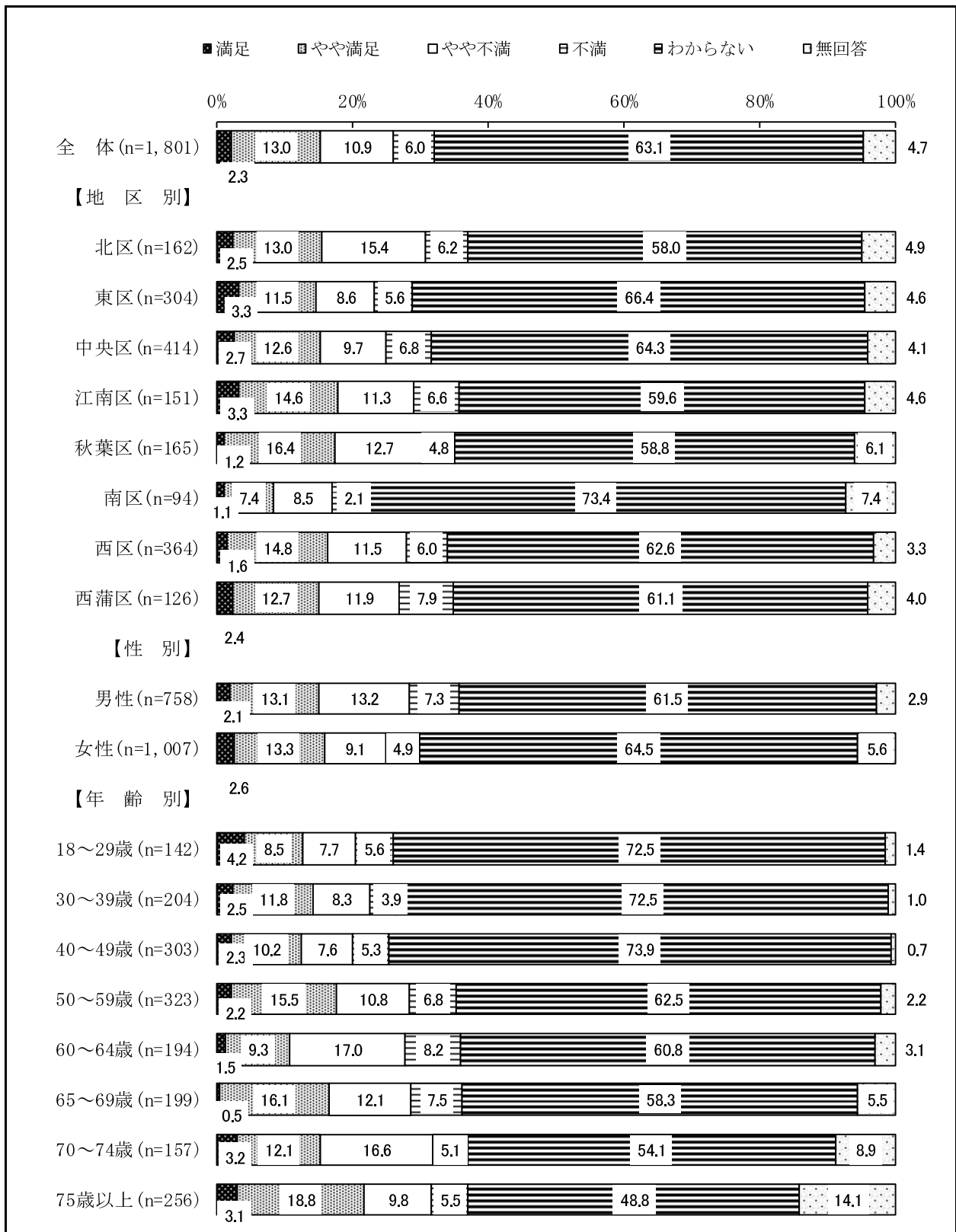
【属性別結果】

次ページ以降に地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。



図4-6 「まち歩き」に関する現状の満足度（地区別／性別／年齢別）

1. まち歩きイベント（参加の機会が充実しているかなど）

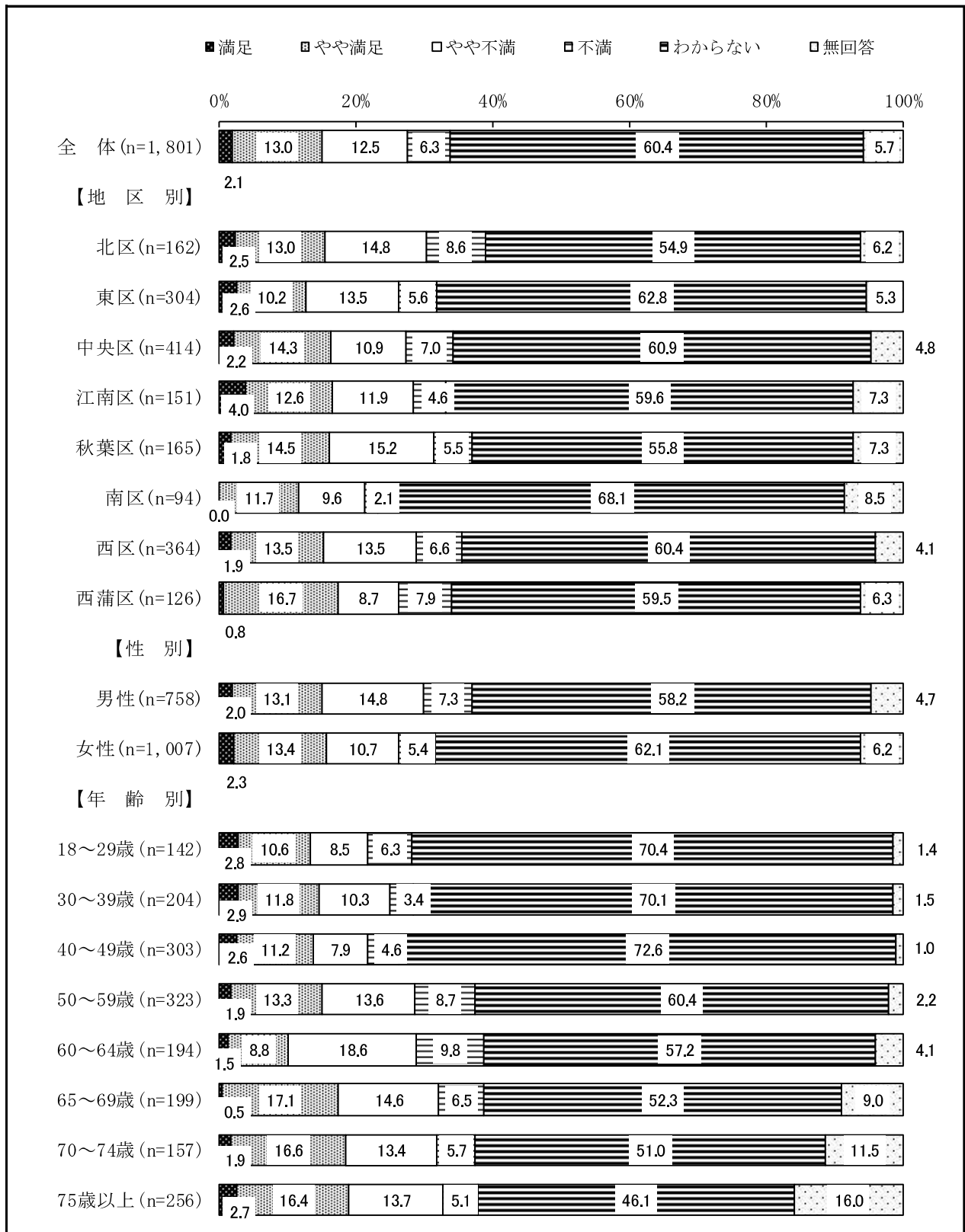


地区別では、『満足』計の割合は、江南区（17.9%）と秋葉区（17.6%）が高くなっている。一方、『不満』計の割合は、北区（21.6%）が最も高く、2割を超えている。

性別では、『不満』計の割合は、男性（20.5%）が女性（14.0%）を上回っている。

年齢別では、『満足』計の割合は、75歳以上（21.9%）が最も高くなっている。一方、『不満』計の割合は、60～64歳（25.2%）が高く、全体の4分の1を占めている。

## 2. まち歩きの紹介（経路やマップが充実しているかなど）



地区別では、『満足』計の割合は、西蒲区（17.5%）が最も高くなっている。一方、『不満』計の割合は、北区（23.4%）が最も高くなっている。

性別では、『不満』計の割合は、男性（22.1%）が女性（16.1%）を上回っている。

年齢別では、『満足』計の割合は、70～74歳（18.5%）と75歳以上（19.1%）が高く、2割未満となっている。一方、『不満』計の割合は、60～64歳（28.4%）が最も高くなっている。